

報道機関各位

2017年2月27日

帝國製薬株式会社との癌疼痛治療剤「メサペイン®錠」に関する 販売契約締結について

帝國製薬株式会社（本社：香川県東かがわ市、代表取締役社長：藤岡 実佐子、以下「帝國製薬」）と、塩野義製薬株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「塩野義製薬」）は、すでに帝國製薬がテルモ株式会社を通じて販売をしております癌疼痛治療剤「メサペイン®錠」の国内における販売契約締結に至りましたので、お知らせいたします。

この契約締結により、今後、塩野義製薬はテルモ株式会社と並行して「メサペイン®錠」を販売し、医薬品情報の提供・収集等の活動を実施してまいります。

「メサペイン®錠」の効能・効果は、「他の強オピオイド鎮痛剤で治療困難な中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛」となっております。塩野義製薬が有するこれまでのがん疼痛治療薬ラインアップに本剤が加わることで、がん疼痛でお困りの患者さまの QOL (Quality of Life) 向上に、より一層の貢献ができると考えております。

超高齢社会の進展にともなうがん罹患患者数の増加により、多くの患者さまが長期にわたりがん疼痛と関わっていくことが想定されます。がんそのものの苦しみのみならず、がん疼痛からもたらされる苦しみは、患者さまだけでなく、その周囲の方々の QOL をも損なう可能性があります。塩野義製薬は、がん疼痛治療薬の情報提供活動、オピオイドによる副作用の緩和に関する研究開発※1、疼痛緩和推進室による啓発活動※2などを通じ、CSV※3の観点からがん疼痛でお困りの患者さまやご家族、医療従事者のみなさまに対し、包括的に薬剤の適正使用を推進してまいります。

塩野義製薬は、「創薬型製薬企業として社会とともに成長し続ける」ことを経営目標として掲げた中期経営計画 SGS2020 の中で、「疼痛・神経」をコア疾患領域のひとつに選択し、疼痛治療に関する諸課題を解決する革新的新薬の創製に注力しています。引き続き疼痛領域における取り組みを強化し、患者さまの QOL の向上に貢献してまいります。

以 上

※1：2016年12月19日リリース

[末梢性μオピオイド受容体拮抗薬 Symproic®（一般名：ナルデメジン）の米国販売に関する Purdue 社との戦略的事業提携について](#)

※2：ウェブサイト「[がんのつらさ～つらさ聴いてつたえて～](#)」

※3：Creating Shared Value の略。社会的課題の解決と成長を両立させ、社会と共に社会をより良い方向に導こうとすること

[お問合せ先]

塩野義製薬株式会社 広報部

TEL：06-6209-7885 FAX：06-6229-9596